

# 救急救命九州研修所 宿泊棟談話室冷蔵庫調達業務 仕様書

## 1 総 則

この仕様書は、救急救命九州研修所（以下「研修所」という。）における、宿泊棟談話室冷蔵庫調達業務に係る必要な事項を定めるものである。業務の実施業者（以下「実施業者」という。）は、この仕様書を遵守し誠実に遂行するものとする。

## 2 概 要

### (1) 件名

救急救命九州研修所 宿泊棟談話室冷蔵庫調達業務

### (2) 物件及び数量

冷蔵庫 8台（付属品を含む）

### (3) 業務実施期間

契約締結日から令和3年5月31日（月）まで

※ 詳細については後日救急救命九州研修所担当者と調整するものとする。

### (4) 物件納入場所

福岡県北九州市八幡西区大浦3丁目8番1号

一般財団法人救急振興財団 救急救命九州研修所 宿泊棟各階

#### 【宿泊棟各階の設置台数について】

- ・ 3階談話室：2台
- ・ 4階談話室：2台
- ・ 5階談話室：2台
- ・ 6階談話室：2台                      計8台

### (5) 物件の設置

上記（2）の物件を上記（4）に搬入・設置する。

具体的な搬入時期は、契約締結後に研修所担当者と協議するものとする。

### (6) その他

既存の機器の撤去及び処分を行うこと。

## 3 物件の仕様（別添図面を参照）

### (1) 基本的な仕様

- ・ 容量（定格内容積）：各室の合計で、500L以上の収容スペースがあること。
- ・ 外形寸法：幅600～700、奥行き700～750、高さ1800～1850（mm）程度とすること。
- ・ 色柄：特に指定なし

- ・各室：冷蔵室、冷凍室、製氷室の3つがあること。このうち、冷蔵室は使用頻度が最も高いため、250L以上の容量を確保すること。
- ・開閉方式：冷蔵室の扉は、使用頻度が高いため片開きとすること。
- ・霜取方式：自動
- ・冷却媒体：ノンフロンとすること。

#### (2) 備考

- ・故障時の部品交換の観点から、日本製であること。
- ・既設機器（ナショナル NRF532T（SR））と同等以上の性能を有する機器とし、指定箇所に設置できるものであること。ただし、必ずしも既設機器の後継機種である必要はない。
- ・資源エネルギー庁による2018年度版省エネ基準達成率100%以上（星5つ）を満たすこと。

※ 上記（1）及び（2）に関して、事前に当研修所宿泊棟の談話室について設置スペースを確認する必要がある場合には、救急救命九州研修所担当者に連絡し、日時を調整すること。

#### 4 業務内容

- ①冷蔵庫（8台）の宿泊棟各階談話室への搬入、設置、運転確認
- ②アース接続などの調整
- ③入替え作業（既設機器の撤去と廃棄を含む）
- ④その他（上記①～③の実施に伴い必要となる作業）

※ 宿泊棟各階談話室（3階～6階）への搬入に際しては、エレベーターの利用が可能。

（エレベーターは、開口部の幅890mm、高さ2090mm、室内の奥行1300mm、最大荷重750kg）

#### 5 一般共通事項

##### (1) 業務実施条件

請負者は、仕様書を基に現地確認し、業務計画書を提出して予め承諾を得ること。

##### (2) 設置方法

設置方法は、当該製品の指定された方法による。

##### (3) 製品・性能保証

各製品はメーカーによる保証（通常使用における1年間保証）があるものとし、販売者による有償長期保証は不要とする。

##### (4) 下請負・委任

業務の一部を第三者に請け負わせ又は委任する場合は、予め承諾を得ること。

##### (5) 現状復旧の義務

請負者は、その他の既設物等に損傷を与えた場合、発注者の立会いのもと、その指示に従い請負者の負担において現状に復旧すること。

(6) 完了検査

業務の完了後、発注者の立会いの上、完了検査を行う。手直しや瑕疵がある場合には発注者の指定した期日までにそれらの業務を完了し、再検査を受けること。

(7) 解体材及び発生材等の処置

業務で発生したゴミ及び廃材等は生活環境に配慮して収容し、全て場外へ搬出すること。

(8) 業務完了届

業務完了届は、以下の内容で1部提出すること。

- ① 業務完了届 (別添参照)
- ② 保証書・取扱説明書
- ③ 作業記録写真